

# 兼業（審議会、委員会の委員等の場合）

太枠内のみ記入願います。

※ 兼業先法人の所在地と異なる所在地の場合のみ記入してください。

※ 具体的に詳しく記入してください。

変則的な場合は「その他」の欄に詳しく記入してください。

※ 貴法人のHPがない場合は、記入不要です。

※ 貴法人の文書番号を記入願います。

別記様式

兼業依頼状（①兼業従事許可申請書・許可書）（②兼業従事届出書）

<p>静岡県立大学長 様</p> <p>貴学下記職員に兼業を依頼したいので、御同意くださるようお願いいたします。</p> <p>団体名： 財団法人〇〇〇〇〇〇〇〇</p> <p>代表者： 理事長 〇〇 〇〇</p>	<p>文書番号：〇〇〇〇第××××号 平成23年 3月 1日</p> <p>兼業先法人の所在地：〒〇〇〇-〇〇〇〇 静岡市葵区〇〇町〇-〇-〇</p> <p>担当部署、担当者、連絡先電話番号： 総務部総務課 〇〇 〇〇 054-〇〇〇-〇〇〇</p>
<p>貴法人HPアドレス：http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/index.html</p>	<p>兼業（勤務）先所在地：〒〇〇〇-〇〇〇〇 静岡市駿河区〇〇町〇-〇-〇</p>
<p>事業内容：学術研究の助成、研究者の養成のための資金の支給、学術の応用に関する研究等を行うことにより、日本の学術の振興に寄与することを目的とする。</p> <p>※ 国、地方公共団体の場合は、当該委員会規程等の目的等に当たる部分を記入してください。その他団体等は、定款、寄附行為の「目的」にあたる項目を記入してください。静岡県に属する審議会、委員会等の場合は、この欄の記入は不要です。</p>	<p>勤務態様：<input type="checkbox"/> 毎 曜日 時</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 期間内につき 6 回</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ 1回あたり 2 時間</p> <p>※ 遡及して許可することはできません。 なお、許可するまでに1カ月程度かかる場合もありますので、余裕をもって依頼してください。</p>
<p>兼業従事者 氏名：〇〇 〇〇 職名：教授</p> <p>所属：〇〇学部（〇〇研究科）</p>	<p>兼業予定期間：平成23年 4月 1日 から 平成24年 3月 31日 まで</p>
<p>役職名：〇〇〇〇委員会専門委員</p> <p>職務内容：〇〇〇〇委員会専門委員として、学識経験者の立場により、学術研究の振興を目的とした〇〇〇補助金の配分・促進・評価に関する審査を行う。</p> <p>※ 職務内容を具体的に記入してください。この欄に記入されている業務以外に従事することはできません。</p>	<p>報酬：<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 1回につき 10,000円</p> <p>その他（ )</p> <p>旅費：<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有</p>
<p>当該兼業依頼状について開示請求があった場合、開示して差し支えのあるものについてチェックしてください。： <input type="checkbox"/>団体名（代表者名・事業内容を含む） <input type="checkbox"/>役職名 <input type="checkbox"/>職務内容</p>	

※ 「静岡県情報公開条例」及び「静岡県公立大学法人公文書開示事務等取扱規則」に基づき、本学に当該兼業に関する法人文書の開示請求があった場合、法人文書の開示義務が生じますが、開示することに差し支えのあるものがあれば、その項目にチェックしてください。ただし、チェックがあっても必ず不開示となるものではありませんので、あらかじめ御了解願います。また、開示請求があった場合、改めて不開示理由について御照会することがありますので、御承知おきください。